

# みさきの Style

～ みんながさんかくきっちりのびる

こどもとつむぐ みさきの教育

文責：村田典子

R5年10月20日号



## “わっしょい祭り”で盛り上がる

令和元年の開催以降、コロナ禍でずっと休止していた「わっしょい祭り」が復活しました。

今年は、子どもサポーターとして、5・6年生の子供たちも、希望のブース、時間でお手伝いの機会を与えていただきました。当初は、1～6年生までの希望が130人に上ったため、高学年対象に制限されましたが、そのくらい子供たちのやる気と興味は高く、子どもも大人も大いに楽しんだ時間でした。

美咲野職員チームは、綿菓子作りを担当させていただきました。「美味しい!」という言葉が励みになりました。(たくさんお待たせしてすみませんでした。..)

企画・準備にあられた役員の皆さん、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

## “祝”表彰

①菊池都市科学展 ( ) は学年



金賞(県良賞) 齊藤万愛(4)・齋藤慶(6)

金賞 村森奏斗(6) 永村夢菜(6)

銀賞 岩田苺桜(6)・長島遼(4)・瀬田理莞子(4)  
日面遥花(6)・森下歩羽香(6)・津山康晴(6)  
児玉結音(6)

銅賞 中西良太(5)

②優良 PTA 文部科学大臣表彰



## 活発な後期です

①児童会活動～あいさつ日本一を目指して

毎朝、生活委員会が正門に立って挨拶運動をしています。年度当初に比べると、子供たちの挨拶の意識は高まっています。授業中に私が廊下を通っているとき、目が合うと、会釈をしてくれる子もいます。嬉しくなります。「あいさつ日本一」を目指した本気の取組の成果が楽しみです。



②3年生の意気込み

始業式での意見発表の中から、1つ紹介します。「前期にがんばったことと後期に向けて」

わたしが前期にがんばったことは、人の話を聴くことです。前期前半では、目と耳と心で聴くことが少しできませんでした。耳では聞いていたけど、目と心を向けることができていませんでした。しかし、前期後半では、目と耳と心で聴くことができるようになりました。自分が変わったので少しうれいです。だから、これからも、今のできている自分でみんながうれしくなるようにがんばります。

後期に、特にがんばりたいことは、友達ともしっかりやることです。前期では、友達の気持を考えて行動することができなかったこともありました。後期では、困っている友達を見つけたら、声をかけること、みんなとしっかり遊ぶことをがんばり、みんなで助け合っていきたいと思います。

これらのことをがんばって、さらに楽しい後期にしたいと思います。(3年3組 堀心寧さん)

## わっしょい祭りスナップ(^^)

大人気の風船キャンドル



バザーで活躍する子どもサポーター



唐揚げが大好評だったキッチンカー



【タイトル写真：わっしょい祭り】